

主催：汽水域研究センター；後援：汽水域研究会

「シンポジウム」河口～内湾域の人為的改変の現状と課題

・・・世話人：野村律夫・秋元和實・瀬戸浩二

河口～内湾域のような閉鎖性水域は、人類の歴史とともに常に改変されてきた。特に、1960年代の高度経済成長以来、干拓や堤防の建設などの地形改変や排水などによる環境汚染などが行われ、水域環境は全体的に悪化の一途をたどっているといつて過言ではない。近年、水域の自然再生・保全の観点から環境対策が考えられ、一部実行されるようになったが、その効果は十分とは言えないのが現状である。本シンポジウムでは、各水域での現状を報告し、そこから見えてくる課題について議論し、水域の将来像を模索することを目的としている。

[プログラム] 2010年1月9日

14:30-14:35 シンポジウム趣旨説明

14:35-17:30 人為的改変の現状と課題

1. 有明海諫早湾における人為的改変の現状と課題

・・・秋元和實（熊本大・沿岸セ）

2. 瀬戸内海における人為的改変の現状と課題

・大阪湾における人為的改変の現状と課題

珪藻群集からみた一次生産者の応答とそれが環境に与える影響

・・・廣瀬 孝太郎（島根大・汽水セ）ほか

有孔虫遺骸群集からみたベントス生態系の応答

・・・辻本 彰（島根大・教育）ほか

・瀬戸内海播磨灘・周防灘における人為的改変の現状と課題

・・・入月俊明（島根大・総合理工）ほか

3. 斐伊川水系河口域中海における人為的改変の現状と課題

・人為的に改変された中海本庄水域における環境変遷と今後の課題

・・・瀬戸浩二（島根大・汽水セ）ほか

[コメント] 中海本庄水域における底生生物調査について（予報）

・・・倉田 健悟（島根大・汽水セ）ほか

[コメント] 中海本庄水域の堤防開削に伴うメイオベントスの変化

・・・高田裕行（島根大・汽水セ）ほか

・

17:30-18:30 課題解決のための新しい視点

1. 地下水の海底湧出を通じた海域への環境負荷の評価

・・・嶋田純（熊本大学沿岸セ）

[コメント] 中海の湖底湧水の現状について

・・・新井章吾（海中景観研究所）

2. 環境放射能を利用した水塊の動態

・・・野村律夫（島根大・汽水セ，教育）

注：この標題には仮題も含まれています。今後若干の変更もあります。（2009.12.3）